

# eラーニングを導入する事で 社員や企業にもたらすメリットとは？

※ 無断引用や転載、第三者への送信禁止。



# 目次

Index

1. eラーニングとは
2. eラーニング導入でできること
3. eラーニング導入での企業側のメリット・デメリット
4. eラーニングを導入する上で大切なこと
5. おわりに

# 1. eラーニングとは

eラーニングは、1990年代のインターネット普及とともに発展してきた電子・情報化技術を活用する学習形態であり、**ITの技術を使った教育システム、教育コンテンツ、教育そのものの事**です。

パソコンや、スマートフォンなどのモバイル端末を用いて、**業務の合間や通勤時など、いつでもどこでも好きなときに学習することができます。**



## 2. eラーニング導入でできること

eラーニングでできることのひとつに、**時間とコストの有効活用があります。**

研修会場に足を運び、時間を拘束されていたところが、オンライン化によって場所や時間を問わず学習できるようになりました。そのことにより、移動や宿泊のコスト削減に繋がります。

そして、複数の学習者が同じ講師から同じ講座内容を何度も受講する場合、受講内容の偏りを防ぐことができ、更には、自ら繰り返し学習ができるので、その講師を何度も呼んで講座を開催することや、会場を押さえる手配が少なく済み、こちらもコスト削減へと繋がっています。

また、**学習の履歴がデータとして管理されていることにより、誰がいつどのような学習を行い何点をとったかなど、学習の管理を行う事ができるようになります。**

用意されているコミュニケーションツールで**質問や意見を投げかけ合えば、学習者と講師、学習者同士が離れていても理解をより深めることもできます。**

さらに、カリキュラムのデータ化や、メールの自動配信などを使った運用面の簡素化、近年のeラーニング技術を使うと、ビッグデータを活用した学習内容の分析、AIを活用した学習コースのレコメンドや学習者へのモチベート、顔認証を使った本人確認や集中度判定など、様々なことを行う事が可能です。



### 3. eラーニング導入での企業側のメリット・デメリット

続いて、企業側のメリット・デメリットを見ていきましょう。

#### ◆ メリット

- ✓ 導入以降のコスト削減・教育の効率化
- ✓ 教材のアップデートができる
- ✓ 大人数に対して均一の教育
- ✓ 学習管理の一括化
- ✓ 教育のフロー化

#### ◆ デメリット

- ✓ 教材作成やシステム導入に費用がかかる

以上のように、企業側としても社内研修にかかるコスト削減ができ、一括管理できるため、働き方改革・生産性の向上につながります。

しかしながら、システム導入に関しては費用が必要になってくるため、導入しない場合と導入した場合の先の見通しを立て、どちらがメリットになるのかしっかり比較しましょう。



## 4. eラーニングを導入する上で大切なこと

### ◆ なぜ導入したいのか・導入して何を目標にしているかを明確に

せっかく導入しても、目的もなくただ受講させているだけでは意味がありません。eラーニングを導入し、受講していく中で、学習者に何を修得して欲しいのか。そして企業や学校などにとってどういう成果に繋げていきたいのか。目指す目標を明確にしましょう。

### ◆ eラーニングシステム・教材の選定やコスト

eラーニングを選ぶ際にチェックしておきたいポイントを以下に整理しました。ニーズから選ぶeラーニングの向き・不向きを見極めていきましょう。


### ◆ eラーニングシステム・教材の選定やコスト

基本的には以下の役割のスタッフが必要になります。

- 企画→教育担当/プロデューサー
- 制作の進行→ディレクター
- システムの導入→システム担当者、WEB担当者
- 運用、保守→システム管理者、技術サポート、教育担当者、チューター、学習支援者（メンター）※学習者の相談や質問を受けたり、受講のリマインドを行ったりすることにより、学習者が学習のモチベーションを高く保てるよう支援します。



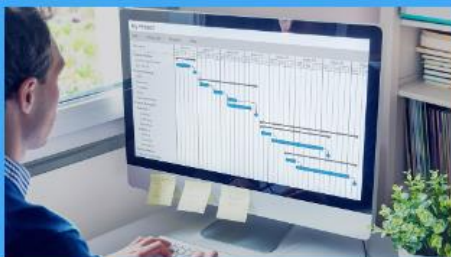
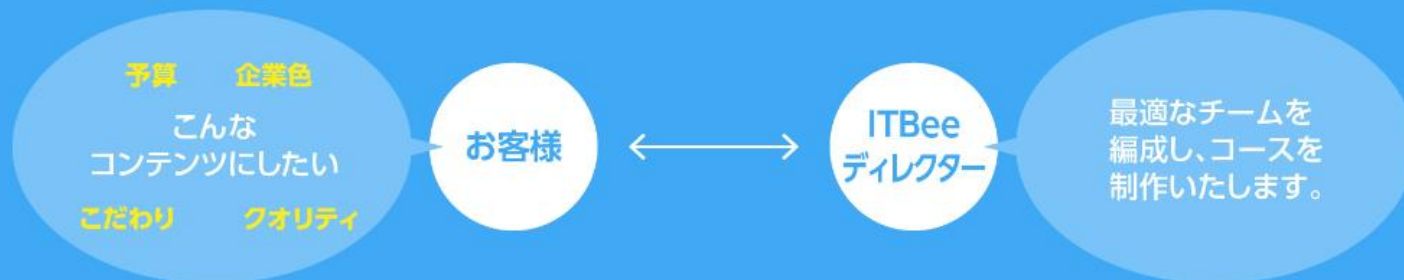
## 5. おわりに

A person with long brown hair is seen from behind, sitting at a desk and working on a computer. The monitor displays a dashboard with several colorful circular charts and graphs. The scene is dimly lit, with the primary light source being the computer screen.

# eラーニング コース制作

研修・セミナー・授業・資料から  
eラーニングコースを作成します

# 企画設計から原稿作成・編集まで、 コース制作のすべてをお任せいただけます



### 企画・設計

伝えたいコンテンツに応じて、伝わりやすい学びやすい構成を設計・提案いたします。



### 原稿制作

内容を加味して受講者が理解しやすいワードや言い回しにて原稿を制作します。



### デザイン

文字サイズ、フォント、強弱、色、バランス、トーンなどを統一し、魅力あるコースにしていきます。



### 音声収録

プロのナレーターによるナレーションのアテレコを専用スタジオで行います



### 撮影

研修の撮影はもちろん、工場の設備やシステム等の操作手順など現場の撮影などにも対応いたします。



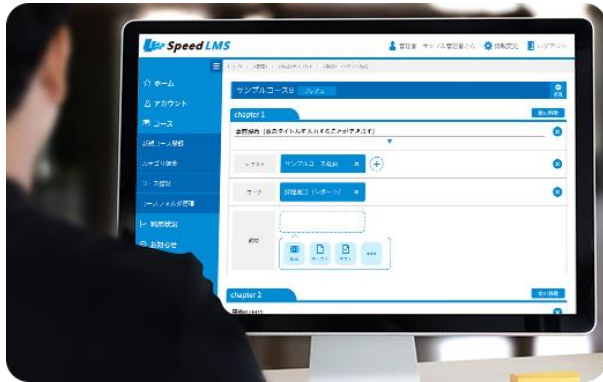
### 動画編集

チームで行ったクリエイティブを最終的に一つの動画にまとめていきます。

動画配信ツールとして × 情報シェアツールとして × 知識のインプットツールとして

# eラーニングシステム 「Speed LMS」製品紹介

eラーニングシステムで働き方の改革を！



## 「使いやすさ」にこだわったeラーニングシステム！

SpeedLMSは、ITに不慣れな方でもシステム操作で迷わないように、できるだけ簡単に使えるように考え抜かれたシステムです。アイコン操作から、簡単にコースが作れる機能や、動画を配信に最適な形に変換してくれる機能、期限間際の受講者に自動でフォローメールを送信する機能など、できるだけ管理者に負担がかからないように設計されています。Pro版ではさらに、運用上必要な機能の追加、サービスにあったデザインの変更など、カスタマイズを自由自在に行う事が可能です。



## セキュリティを重視！開発もデータセンターも日本国内

お客様の大切な個人情報、機密情報をお預かりするために、ITBeeでは様々な取り組みを行っております。情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27001:2013）（認証登録番号：JP20/080626）を取得。クラウドサービスは、日本国内のIIJ社のGIOを利用。海外に情報が流出しないように配慮しております。プログラムの開発は全て自社内にて行っております。



## わかりやすい料金設定。業界最安のプランもあり！

他社様のシステムをご利用のお客様から、基本料金以外に必要なオプションが多すぎて、結局高くてしまうというお声を多数頂いております。SpeedLMSでは、月額のご利用料金の中に動画配信も含めたすべての機能（カスタマイズ機能除く）の費用が含まれます。登録ID数もしくは同時接続数による料金と、Diskの容量による料金のみとなり、動画の配信における「流量課金」はございません。配信時間を気にせずお使いいただくことが可能です。



お問合せはこちら

 03-6276-7142

 info@itbee.co.jp

担当者 : 山中

受付時間 : 10:00~18:00 (土日祝除く)

公式サイト

Web <https://itbee.co.jp>